

「市長とドンドン語ろう！（次期総合計画策定に向けて）in北区」令和5年（2023年）7月28日 植木文化センター 2階研修室 意見交換内容 参加者：43名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	・山本校区は、小規模特認校制度の導入の話が進んでいるが、現在地域として取りまとめている要望があるので、近々提出したいと考えている。	（市長） ・小規模特認校については、多様な子どもたちを小規模な学校で受け入れられるようにということで、中央区では本荘小学校、南区では中緑小学校、川口小学校、北区では山本小学校で、令和6年度から導入することになっている。教育委員会が行った保護者アンケートでは1万人を超える保護者から回答があり、800人を超える保護者から制度利用を考えたいという回答をいただき、制度導入に関して肯定的なご意見をいただいたところ。 ・山本も子どもたちの数が少なく今後も複式学級になる見込みだが、子どもたちがたくさん入ってくることによって複式学級にならずに教育効果が広がり、移住して子どもを通わせてみたらとてもいい地域だ、とても温かい地域だという評判を得れば希望も増えてくるのではないかなと思う。ご要望については確認し、検討していきたい。	教育委員会事務局	教育改革推進課
2	・北区、特に植木地区で放課後等デイサービスの空きがなく、必要なサービスを受けられていない子どもがいる。今後TSMCが熊本に進出して、引っ越してくる子どもの中で障がいを持った子どももいると思うので、今の受入可能枠を大きくするか、もしくは放課後等デイサービス自体を増やすのかなど、今後の見通しと対策をお願いしたい。	（市長） ・放課後等デイサービスのニーズが増えていることは、私も把握しており、枠を増やすのか、新しく設置をするのかなど、ニーズに合わせて対応を検討していきたい。	健康福祉局	障がい福祉課
3	・坪井川緑地は、幼稚園・小学校低学年までは遊べるが、中学生・高校生が遊ぶ施設がないので、中学生・高校生向けの施設を作ってもらいたい。また、そのような施設をつくるにあたって、中学生・高校生にどういう施設が欲しいのか意見を聞いてほしい。	（市長） ・多様な世代の方が活動することができれば非常に有効であると考えている。新たな施設の整備については、様々な検討が必要だと考える。また、この場所は水害になった場合の遊水地のような機能も持っており、日常的に使いやすい場所にするため、皆さんのニーズを聞いていくのは重要であると考えている。	都市建設局 北区役所	みどり公園課 北区土木センター
4	・使われていない井戸や農地用水があるが、地下水はすべてつながっているので、一つ一つの井戸や湧水地の水を全て市長直轄で管理する必要がある。今から掘る地下水の管理だけではだめだと思う。高平校区には湧水地が多いので、汚染などがないか全部調べて管理してほしい。	（市長） ・現時点で具体的な対策を持ち合わせてはいないが、ご指摘いただいたことは非常に重要なことだと認識しており、この問題について検討していきたい。	環境局	水保全課
5	・TSMCによる地下水の使用量について教えてほしい。 ・今の何十倍もの水源かん養が必要になると思うが、どのような戦略を持っているのか。 ・排水についてどのような検討をしているのか。	（市長） ・JASM（TSMCの子会社）の新工場では、1万2,000㎡の地下水を採取しその75%を再利用する計画とし、環境負荷を減らすと伺っている。今年4月には、この100%つまり1万2,000㎡以上に相当するかん養をJASMが関係機関の協力を得て行うという協定を結んでいる。 ・地下水かん養については、水田に水を張り、そこから水が浸透して地下水の量を増やす取組をしたり、水源かん養林を契約して植えさせてもらうなどの取組を進めている。今すでに進出している企業にも地下水財団等の取組にご協力いただいております。今後も、地下水財団等と連携しながら取組を進めていきたい。 ・地下水のかん養効果については、江津湖の湧水量は増えているものの、水田は減ってきていることから、これからも地下水財団や様々な関係行政機関とも連携してかん養事業に取り組んでいく。 ・排水については、県の施設である熊本北部浄化センターで浄化をして坪井川に流される。この過程で菊陽町や熊本県と連携して水質調査を行い、そこから先、坪井川に処理をした水を放流をする際に市が水質を監視する。 ・また、例えば、家畜排せつ物を多くまきすぎていることによって硝酸性窒素濃度が上がってきているのが確認されているところがあるので、熊本市の東部の方ではたい肥センターを作って家畜排せつ物をそこに集めることで水質を守っている。 ・地下水を守るための取組や監視については、次期総合計画の中にも明記をしながら取組を継続していきたい。	環境局	水保全課

「市長とドンドン語ろう！（次期総合計画策定に向けて）in北区」令和5年（2023年）7月28日 植木文化センター 2階研修室 意見交換内容 参加者：43名

No.	ご意見	回答	局	担当課
6	・国道3号線の交通の便が悪く、住民の高齢化もあり、交通難民、買い物難民が出てきている。 ・色々な相談ができる過疎対策課というような課をつくってほしい。	（市長） ・法的には熊本に過疎地はないが、このような地域への対策を行うという意味では、今いただいたご意見も含めて、地域で色々な相談がしやすいようにしていきたいと思う。	都市建設局 文化市民局 政策局	移動円滑推進課 地域政策課 政策企画課
7	・高齢なので、そのうち車を手放さなければならなくなったときにどうすればいいのか。高齢化社会はどんどん進んでいくことから、交通渋滞問題の解決の手段としても、まちづくりセンターと西里駅との間をつなぐような公共交通手段ができれば、西里駅まで降りた後に熊本駅まで行くこともできて高齢者も色々楽しみが出来ると思う。グリーンスローモビリティもいいし中九州横断道路もいいが、高齢者が住みやすいような形で考えていただきたい。	（市長） ・今は車で移動できているが将来的に移動の手段がなくなるという不安を持っている方がいる。 ・バス路線を増やそうにもバスの運転手が足りず、経営もうまくいかない中で、AIデマンドタクシーの実証実験を始めた。現在、天明地区で実施しているが、利用件数が好調であり、もっと充実させてほしいという声が上がっていることから、今後、対象のエリアを拡大して他の地域にも展開していこうと考えている。 ・例えば北部エリアでも、このようなことの実証実験をするなど、みなさんが安心して移動できるような交通手段を確保にむけて検討していきたい。	都市建設局	移動円滑推進課
8	・公共交通機関の東区と北区をつなぐ路線がないので、もう少し環状道路を大きく回していただきたい。日赤経由市民病院行きとか、市民病院経由済生会行きとか、北区から熊本駅に直接向かうバスなどを考えていただけないか。	（市長） ・バス会社5社による共同経営が始まり、路線見直し、利便性向上など様々な努力をしているところ。東区と北区をつないだり、目的地がはっきり分かるような便も含めて、市と交通事業者との間で対応を考えていきたい。	都市建設局	交通企画課
9	・未だに有識者会議の耐震性能分科会の議事録が公開されておらず、そのような状況で話が進められるのは是とできない。 ・耐震基準は満たしているが、防災拠点としての耐震性能は満たしていないという二元論は市民には分かりにくい。 ・市も熊本県のように防災拠点を別に整備することはできないのか。一極集中の状況はリスクもある。5つの行政区ごとに防災拠点を設けることを検討して欲しい。 ・大規模な事業なので、各小学校区ごとに説明会を開き、広く市民の意見を聞いてほしい。	（市長） ・熊本市本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議については、法令や条例に基づいて適切に対応している。耐震性能分科会についても、論点も含め議論の内容が公開されているので、確認いただきたい。 ・本庁舎等は超高層建築物であるが、官庁施設の総合耐震計画基準では、超高層建築物に関しては、防災拠点施設や一般施設の重要度係数に区別がないということもあり、耐震性能や耐震基準の使い分けは一般に行われていない。 ・熊本県庁は昭和42年に建てられているが、本館は耐震改修を平成7年から13年で終えている。狭あい等の理由で平成9年に新館を整備し、更に防災拠点として防災センターを新築している。県と市では状況が異なるが、熊本市も今の本市の状況・環境を踏まえて、市民の皆さまの生命・財産を守るため、災害が起きた場合であっても本庁舎等が機能し続けるよう検討していきたい。 ・説明会については、現在は、デジタル技術の進展により、動画配信や各種SNSなどによる周知、意見聴取方法も普及していることから、今後も様々な媒体を活用し、市民の皆様に対して、適切な時期に適切な情報を発信し、丁寧な説明を行うとともに、広くご意見をお聴きしたいと考えている。	政策局	庁舎建設準備室

「市長とドンドン語ろう！（次期総合計画策定に向けて）in北区」令和5年（2023年）7月28日 植木文化センター 2階研修室 意見交換内容 参加者：43名

No.	ご意見	回答	局	担当課
10	・市庁舎は高さ60m以上の超高層ビルで建築基準法による大臣認定（構造方法等による認定）を受けているが、大臣認定を受けたビルは耐震性能評価を行う必要がないのに、なぜ行ったのか。 ・耐震性能評価を行う際、竣工図ではなく設計図で行ったのはなぜか。 ・有識者会議の会長は「現行の建築基準法に適合していないため建替が必要」と発言しているが、市長は、建築基準法が改正される度にビルを建て替えていかなければならないと考えているのか。	（市長） ・「現行の建築基準法等が求める耐震性能を有していない」と、熊本市本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議で結論づけられたことを考えると、災害時でも本庁舎の機能を継続しなければならないし、来庁される市民、そしてそこで働く職員の身の安全が脅かされるような事態になってはならない。 【後日庁舎建設準備室からの補足】 ・平成29年、令和2年に実施した耐震性能調査については、耐震性能分科会で検証いただき、報告書を公開している。設計図・竣工図のお尋ねについては、現在、係争中であり、裁判の中で明らかにすると考えおり、お答えは差し控えさせていただきます。 ・本庁舎は、昭和56年の竣工であり、建築設備全般に経年相当の劣化が進行していることから、目標耐用年数70年に向けて、今後30年以上も継続して利用するための長寿命化改修が必要であった。さらには、熊本地震を経験した本市として、2度の大きな地震を経た本庁舎が、今後30年以上という長い期間にわたっても防災拠点施設としての機能を果たし続けることが必要であるため、熊本地震の影響も踏まえたうえでの耐震性能の評価について、設備の長寿命化改修と一体的に検討したものである。	政策局	庁舎建設準備室
11	・本庁舎の建替えには反対である。庁舎を建て替える予算があるならば、国保料の引き下げや、古くなった市営住宅の改修に使ってほしい。 ・県庁も建替えではなく改修で対応できたのだから、市も改修で対応できないのか。	（市長） ・国保料が高すぎることや、市営住宅ももっと充実をさせてほしいということはもちろん並行してやっていかなければいけないが、災害発生時に本庁舎の機能が停止して、市民サービスができなくなることも回避しなければならない。74万人の市民の生命・財産を守り、災害から速やかに復旧することによって市民の暮らしを一刻も早く取り戻すという事が必要である。 ・熊本地震の際は、行政機能が継続できずに市民への様々な対応が遅れた自治体があったが、そういうことがあってはならないという反省に基づいて、行政機能の維持のため建替えを進めていく。 ・熊本県庁は昭和42年に建てられているが、本館は耐震改修を平成7年から13年で終えている。狭あい等の理由で平成9年に新館を整備し、更に防災拠点として防災センターを新築した。県と市では状況が異なるため、今の本市の状況・環境を踏まえて、最適な条件をこれから考えていこうとしており、市民の皆様にも丁寧に説明していきたい。	政策局 健康福祉局 都市建設局	庁舎建設準備室 国保年金課 住宅政策課
12	・本庁舎の建替えに賛成である。新しい建物を建てる際は、10人中10人が安全であるというものしか建築確認が下りない。今回、耐震性能がある・ないという意見があるが、「耐震性能がない」という意見が出ている時点ですぐに建替えに向かった方がよい。	※当日回答なし 【後日庁舎建設準備室からの回答】 ・熊本市本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議答申において、「今後も熊本地震より大きな地震が起こる可能性が高く、気候変動による水害・浸水のリスクも高まっていることなど、大規模な災害が発生することが十分見込まれる」と示された。平成24年の九州北部豪雨や平成28年の熊本地震などを経験した自治体として、来庁される市民の皆様、庁内で働く職員、ひいては74万市民の生命・財産を守るため、重要な防災拠点施設であるこの本庁舎等について、様々な災害リスクに対応できるよう、建替えの方針で進めていきたいと考えている。	政策局	庁舎建設準備室

「市長とドンドン語ろう！（次期総合計画策定に向けて）in北区」令和5年（2023年）7月28日 植木文化センター 2階研修室 意見交換内容 参加者：43名

No.	ご意見	回答	局	担当課
13	・新庁舎の建設地は熊本駅周辺が良い。豊島区や渋谷区では、工夫を重ねて、市の財政負担を発生させずに新庁舎を建設した。熊本市も熊本駅周辺に魅力的な超高層ビルを整備すると良いのではないかな。 ・駅前に超高層ビルを建てれば、ランドマークにもなる。	※当日回答なし 【後日庁舎建設準備室からの回答】 ・本市の財政負担を軽減する手法として、民間のノウハウや資金を活用するなど民間活力の活用は検討すべき要素と考えている。また、経費面のみならず、まちづくりや賑わい創出、周辺地域全体で連動した景観、デザインなどについても、民間との連携を進めることは重要と考える。 ・建替え予定地についてはこれから検討していく。本庁舎等の建替えにあたっては、防災面をはじめ、平時における利便性、まちづくりへの影響など、多面的に検討を進める必要があると考えている。そのためにも、市民の皆様をはじめ、経済団体、周辺商店街など、多様なご意見を伺いながら、議会での議論を踏まえ、相応しい場所について検討していく。	政策局	庁舎建設準備室